

# **復興事例集**

## **～平成30年7月豪雨災害からの復興に向けて～**

**令和元年6月24日**  
**(令和2年11月30日更新)**

**四国経済産業局**  
**愛媛県**

## ■はじめに

平成30年7月豪雨災害の発災から1年が経過しようとしています。愛媛県内を含め多くの地点で観測史上最大雨量を記録した未曾有の豪雨は、地域経済を支える事業者にも深刻な被害をもたらしました。

このため、被災事業者の復旧・復興に向けて、国や県・市町、商工団体、金融機関をはじめとする各支援機関では、被災直後より、様々な支援を展開してきました。四国経済産業局並びに愛媛県においても、『中小企業組合等共同施設等災害復旧費補助金（中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業）』（グループ補助金）や『被災地域販路開拓支援事業』（小規模事業者持続化補助金）などの各種支援施策を通じ、復旧・復興を後押ししてまいりました。

特に、愛媛県では大洲市・西予市・宇和島市に支援窓口となるサテライトオフィスを設置し、グループ補助金の活用に向けて、グループ組成や補助金申請について被災事業者に寄り添いつつ支援を進めています。

今般、こうした施策も活用しながら、復旧に努力され、復興へと着実に歩み始められた事業者の皆様の事例を順次御紹介する復興事例集を作成いたします。被災地の現状を理解する一助となり、また、復興に向けた取組のヒントとなれば幸いです。

復旧・復興は進展しつつありますが、一部地域においてはインフラ被害が大きく、未だ復旧の道半ばの事業者もおられます。四国経済産業局並びに愛媛県では、被災事業者の皆様が一步でも前へ進めるよう、被災地の復興に向けて、引き続き全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、本事例集の作成にご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

四国経済産業局 産業部 産業振興課 復興推進室  
愛媛県 経済労働部 産業支援局 経営支援課

# 掲載事業者一覧

番号	市町村名	事業者名	業種	番号	市町村名	事業者名	業種
1	大洲市	J A えひめアイパックス株式会社	製造業	13	大洲市	福栄堂菓子舗	製造業
2	大洲市	有限会社福山製パン所	製造業	14	西予市	有限会社フローラルクマガイ	製造業
3	大洲市	神山運輸株式会社	運送業	15	大洲市	株式会社オズメッセ	小売業
4	西予市	スイーツ工房絹／進藤呉服店	小売業等	16	松山市	忽那醸造株式会社	製造業
5	大洲市	成長自動車株式会社	サービス業	17	大洲市	養老酒造株式会社	製造業
6	西予市	株式会社宇和島海道	製造業	18	宇和島市	旭合名会社醤油醸造場	製造業
7	大洲市	ふるさと旅館	宿泊業	19	大洲市	南豫被服株式会社	製造業
8	宇和島市	株式会社伊予善	飲食 サービス業	20	大洲市	株式会社サンフーズ	製造業
9	大洲市	CELCO JAPAN株式会社	製造業	21	宇和島市	河内屋蒲鉾株式会社	製造業
10	西予市	伊予蒲鉾株式会社	製造業	22	西予市	百姓百品株式会社	小売業
11	大洲市	松浦建設株式会社	建設業				
12	宇和島市	愛工房株式会社	製造業				

# JAえひめアイパックス株式会社

～愛媛県内唯一の食肉センターとして、生産農家とお客様を安心・安全で結ぶ懸け橋となる～



工場浸水時



被災後の役員室



操業再開後の工場内

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市春賀甲410番地
- 連絡先：0893-26-1211
- HP：http://www.ai-pax.jp/
- 事業内容：家畜の処理解体、食肉の製造・販売
- 代表者名：代表取締役社長 中原 一憲
- 企業のPRポイント：

当社は愛媛県内唯一の食肉センターです。  
愛媛県内で年間40万頭豚が生産されますが、そのうち約半分を当社が処理・加工しています。  
創業以来40年間、生産農家とお客様を安心して結ぶ懸け橋となり、皆様の食卓へ笑顔をお届けしています。

## 🕒 被災前後の状況

- 工場が床上1.5mまで浸水したことにより、工場の基幹設備である浄化槽、電気設備、冷凍機器類、食肉加工機器の他、多くの建屋が使用不可となりました。
- 県内唯一の食肉センターである当社が使用不能となったことから、本来当社で加工する豚を県外で加工しなければならない状況となり、生産農家や販売先に対して、影響が及びました。
- 従業員、専門業者の不眠不休の作業により、平成30年10月15日より通常操業となりました。

## 🏠 活用した支援策他

- 復旧・復興にあたり、農林水産省の補助制度とグループ補助金のどちらを使うか検討をした結果、補助対象が広がったことからグループ補助金を活用しました。
- グループ補助金を活用し、工場内ほぼすべて施設を修繕、浄化槽や冷凍機をはじめ200点を超える設備等の修繕・入替を行いました。
- 被害額が甚大であったにも関わらず、グループ補助金を活用し、被災前の生産機能に早期復旧することができたことから、約200名の従業員が不安なく仕事を継続することができました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- グループ補助金により、早期操業再開できたことで、休業期間中にご迷惑をお掛けした消費者の皆様ならびに取引先の方々にも、「愛媛県産の上質で安全・安心な牛肉・豚肉」を早々にお届けすることができています。
- 今後は各方面の専門家の意見を集約し、今回のような災害にも耐えうる強靱な工場システムづくりを進めてまいります。
- 今回の災害による施設の被害は甚大でありましたが、人的被害がゼロであったことは何よりでした。これを機に従業員が一つにまとまり、これまで以上に皆様から愛される会社になるように努めてまいります。



中原代表取締役社長



# 有限会社福山製パン所

～未来を担う子供たちの喜ぶ顔のために、早期復旧を～



被災後の工場内



復旧後の工場内と入替や修繕した設備



同社で作られ、子供たちに届けられるパン

## ↑ 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲986番地の1
- 連絡先：0893-25-4101
- 事業内容：学校給食用パン製造、配送及び米飯の供給
- 代表者名：代表取締役 福山 良二
- 企業のPRポイント：  
約60年前に創業した和菓子と菓子パン製造・販売が原点です。  
約50年前から学校給食用のパン等の提供をはじめ、現在では当社が立地する大洲市のみならず、愛媛県南予地域の約8割の小中学校にパンや米飯を供給しています。

## 🕒 被災前後の状況

- 床上2mまで浸水し、工場の床の基礎部分や壁などを修繕しなければならない状況となり、さらには、パン製造に必要なボイラーや機械装置、米の炊飯設備などが使用不能になりました。
- 給食を待つ子供たちのために早期復旧を目指し、修繕不可能な機械装置以外、可能な限り修繕で対応したことにより、平成30年8月に米飯供給を再開、パンについても9月中旬には再開できました。
- 令和元年度に入ってから、南予地域内で同業者の廃業もあり、平成30年度まで3市1町に供給していたところ、令和元年度はさらに2市町増え、4市2町に供給しています。

## 🏠 活用した支援策他

- 以前も水災を受けたことなどから、保険により施設は復旧できました。
- 機械装置については、保険をかけてなかったことから、グループ補助金を活用しました。早期復旧を目指すため、ボイラーやホイロ、炊飯機器については修繕で対応し、エアコンや冷蔵庫などは入替しました。
- 併せて、新商品開発と新たな販路開拓を目的に、小規模事業者持続化補助金を申請し、設備修理・新設備導入を行いました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 被災したことで「廃業」することも頭をよぎりましたが、学校で給食を楽しみに待つ子供たちのためにも、パンや米飯を届ける責任を感じ、事業を続けていくことを決意しました。
- 被災する以前から、『学校給食を食べている子供や先生はパン屋を選べない。そのため、安心、安全なパンを継続的に届けていきたい』と考えています。未来を担う子供たちの心身の健全な発達につながればと思っています。
- グループ補助金に係る共同事業において、『パン作り親子体験会』を実施することとなりました。以前から取り組みたいことであったため、楽しみにしています。



福山代表取締役



# 神山運輸株式会社

～「-30℃ FREEZING EXPRESS」 定温物流のスペシャリストを目指して～



被災時の写真



復旧後の写真



修繕・入替後の車両

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：（白滝本社）愛媛県大洲市白滝甲222番地  
（松山本部）愛媛県伊予郡松前町大字北川原字塩屋西2061
- 連絡先：089-984-2555（松山本部）
- HP：<http://www.kouyamaanyu.co.jp/>
- 事業内容：一般貨物自動車運送事業
- 代表者名：代表取締役 神山 吏
- 企業のPRポイント：  
小口配送から物流のアウトソーシングまで、高度な品質管理とエクスプレスで、身近で役に立つ「お客さまの物流部門」としての信頼を築いています。

## 🕒 被災前後の状況

- 白滝本社事務所が床上60cmほど浸水。また、大洲地域の小売店配送用の車両が浸水被害を受けました。
- 天候を考慮し、酪農事業者の集配用タンクローリーは、前日に従業員の自宅等に避難させ被災を免れましたが、代わりに従業員の車両が事務所で被災したことから、従業員の自家用車両復旧費用の一部を会社で負担しました。
- 社長の判断により顧客の復旧を最優先。被災直後より顧客先を回り復旧支援に取り組みました。顧客の復旧作業に向け、貯水タンクを県内外より調達し、清掃に必要な雑用水の確保・配送を行いました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- 当初は市補助金を想定していたが、長浜町商工会にご尽力いただきグループ補助金を活用しました。『長浜町商工会とポジティブな会員等のグループ』の構成員として、被災した車両の入替・修繕を行いました。パソコンやエアコンは被害を免れ、通信機能も無事であったことから、比較的早期に事務所機能を復旧出来ました。
- 今回の被災や台風被害を通じて、ハザードマップの重要性を再認識しました。

## 🗣️ 事業者からのメッセージ

- グループ補助金制度を早期に整備頂けたことにより、早期の復興に繋げることが出来、大変感謝しています。
- 災害時は避難するタイミングや被災後の対応等、経営者の判断が重要だと認識しました。
- 今回の被災や、その後の台風被害を踏まえ、自家発電装置を設置し、ハザードマップを社内で周知徹底する等、危機管理意識の向上に繋がりました。
- 南予地域の復旧は道半ばなので、顧客の復旧・復興について常に気にかけておきたいと感じています。



代表取締役 神山 吏



# スイーツ工房 絹／進藤呉服店

～商店街に憩いの場を！まちに笑顔と元気を取り戻します～



被災時の写真



復旧後の写真



イベント風景



お店を守る進藤由紀子氏と御家族

## 🏠 企業の基礎情報／PRポイント

- 住所：愛媛県西予市野村町野村14-10
- 連絡先：0894-72-0333
- 事業内容：スイーツ工房絹：菓子製造販売等  
進藤呉服店：呉服販売等
- 代表者名：進藤由紀子 進藤謙次郎
- 企業のPRポイント：  
創業約50年の呉服店に、スイーツ店とカフェスペースを併設した、笑顔が集う「呉服屋カフェ」です。野村町を元気にしたいという思いから地元産のフルーツや野菜、乳製品などをふんだんに使用したスイーツを提供しています。

## 🕒 被災前後の状況

- 2mを超える浸水により店舗兼住宅および作業場、ケーキ工房が全壊、営業車両も浸水し使用不能となりました。
- 店舗内に泥が堆積。反物等の在庫も廃棄せざるを得ませんでした。が、被害を免れた着物をアクセサリに加工し、「被災を免れたキーホルダー」として店舗再開前より販売。被災後は着物の染み抜き等で新たな顧客も獲得しています。
- SNSを通じた支援や災害ボランティアの協力により、被災5ヶ月後の平成30年12月16日より営業再開できました。

## 🌟 活用した支援策他

- 認定グループである『がんばろう西予！復興プロジェクト』の構成員として、グループ補助金を活用し、店舗兼住宅・作業場の修繕や、車両入替を行いました。
- 店舗修繕に合わせ、小規模事業者持続化補助金や、クラウドファンディングを活用し、店舗内に新たにカフェスペースを整備。ワークショップやイベント等を開催することで、地域コミュニティの魅力向上に貢献しています。
- 被災状況や復興への取り組みを、SNSを通じて情報発信したことや、クラウドファンディングの取り組みを通じて店舗のファンが増加。全国から応援・協力を得られることが出来ました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 被災した直後は今後どうなるのか不安でしたが、グループ補助金を活用することで、早期復旧に繋がりました。
- グループ補助金やクラウドファンディングなど、資金調達は様々な方法で可能です。商店街の憩いの場を提供し、まちに笑顔と元気を取り戻すために復興に取り組んでまいります。



スイーツ工房絹  
代表者 進藤由紀子 4



# 成長自動車株式会社

～地域密着・顧客第一の自動車整備で地域の安心・安全を支えて～



事務所・工場の浸水被害状況



復旧後の工場内と修繕した設備

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲1041番地1
- 連絡先：0893-25-3123
- 事業内容：自動車整備・販売業
- 代表者名：代表取締役 沖村 忠
- 企業のPRポイント：  
平成3年設立。自動車整備・販売を行っています。大洲地域では数少ない大型車両の車検整備も対応可能で、一般車両から事業用車両まで幅広いニーズにお応えします。

## 🕒 被災前後の状況

- 事務所と整備工場が床上80cmまで浸水し、事務所内の壁・床・収納機器等の全面撤去・修繕が必要となりました。
- 当日は朝早くから顧客の車両をレッカー車で牽引し避難させていました。一段落した昼ぐらいから工場内まで水が来たので、動かせる車両はリフトに避難させたものの、故障で動かない車両や工場内の検査機器、フォークリフト等は浸水被害を受けました。
- 被災翌日より営業を再開しましたが、自社の検査機器が被災していたので、暫くは松山の運輸支局まで顧客から預かった車両を持ち込み、車検対応を行いました。また、可能な限り代車を準備する等、地域の方々の事業復旧・生活復旧に貢献しました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、事務所・工場の施設復旧を行った他、工場内の車検用検査機器や、クレーン・フォークリフト等の作業用設備の修繕・入替を行いました。
- 設備類についてはグループ補助金を活用して修繕等を行ったほか、故障していない手持ち工具類は洗浄して使用できるようにしました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 会社設立後、過去2回の水害では被害を免れたことから、自社は大丈夫と安心していただけるところもありました。今回の被災を受け、いざというときに備えることの重要性を改めて認識させられました。
- 大洲地域で大型車両の車検対応が可能なお事業者が少ない中、得意分野を活かし、地域に根ざした事業に取り組んでいきます。
- 過疎化や高齢化が進む大洲地域において、車は生活必需品であり、重要なライフラインのひとつと言えます。当社は、自動車整備を通じて地域の復旧・復興とともに安心・安全に寄与して参りたいと思います。

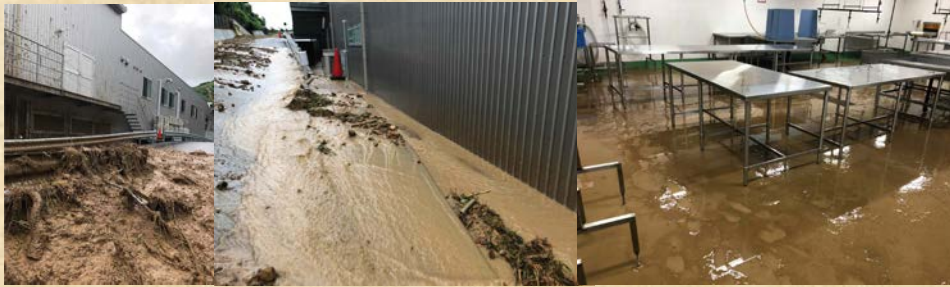


沖村代表取締役



# 株式会社宇和島海道

～養殖魚の高付加価値化による6次産業化に取り組む～



加工場の土砂浸入被害状況



復旧後の加工場と修繕した設備



事業所外観

## ↑ 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市明浜町渡江26番地6
- 連絡先：0894-89-3120
- 事業内容：水産加工業
- 代表者名：代表取締役 玉留 一
- 企業のPRポイント：  
(株)ダイニチ、(株)オンスイ、三井物産(株)の共同出資により平成27年設立。(株)オンスイが有する独自の特殊冷凍加工技術である「超冷凍薫加工」により長期間の鮮度保持を可能とし、お客様のニーズに対応した加工を行っています。

## 🕒 被災前後の状況

- 会社に隣接した山の斜面が崩壊し、土砂が浸入。空調設備、冷凍機の室外機やポンプ類、荷物用リフト等が被害を受けました。
- 加工場内にも土砂が浸入し、加工台などの室内設備も浸水しました。土砂撤去については社員の人海戦術で対応しました。
- 修繕を完了し、衛生管理体制を整えて製品供給を回復するまで1ヶ月程度かかりましたが、販売先等の協力もあり、顧客への影響は最小限に抑えられました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金は、土砂浸入により修繕が必要となった荷物用リフトの電装部品の修繕に活用しました。
- 平成28年に操業開始した比較的新しい加工場で、操業当初から幅広く場内施設、設備には保険をかけていました。このため、土砂浸入により被害を受けた建屋や加工用機械設備は、保険による補償で復旧することが出来ました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 全く想定していなかった土砂災害でしたが、幸いにも大きな被害は無く、1ヶ月程度の操業停止で済んで良かったと考えています。
- 地震や津波、停電等を想定した緊急マニュアルは整備していたものの、土砂災害への備えはありませんでした。今回の被災を受け、緊急マニュアルを見直したいと思います。
- 行政機関をはじめ関係各所からのご支援に感謝し、今後も頑張って運営して参ります。



下田品質管理室長



# ふるさと旅館

～お遍路さんを「お接待の心」で支える大洲の旅館です～



浸水時の客室



浸水の痕が残る納戸



復旧後のふるさと旅館



改修を行った食堂



入替を行った洗濯設備

## 🏠 企業の基礎情報／PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市新谷乙560-1
- 連絡先：0893-25-0928
- 事業内容：旅館業
- 代表者名：瀧本一郎・瀧本由美子
- 企業のPRポイント：

昭和40年代より大洲市で旅館業を営んでいます。遍路文化を支える宿として頑張っています。最近では外国人のお遍路さんも増加しています。

## 🕒 被災前後の状況

- 2m以上の浸水により、旅館1階部分の大広間や客室が被害を受けました。被災直後は電気・水道も止まり、避難していた避難所から片付けに通いました。
- 旅館付近にある支流が氾濫したので、市内でも早く浸水が始まりましたが、避難所はまだ開設していなかったので、宿泊客には、近くの警察署に避難していただきました。
- 夜間の発災で、被災直後の写真を残すことができず、補助金申請に苦労しましたが、グループ代表の(株)愛媛銀行大洲支店さんから積極的に書類作成等を支援していただけたおかげで、補助金を申請することができました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、旅館1階の基礎部分や内装の補修に加え、洗濯設備の入替を実施しました。また、食堂として利用していた別棟は損傷が激しいため取り壊し、その土地を駐車場として整備しました。
- 持続化補助金も活用し、厨房機器などの設備の復旧を行っています。

## 👤 事業者からのメッセージ

- これまでも水害を経験していますので、防災は常に意識しているところです。
- 事業再開にあたり、年齢面の問題もありましたが、リピーターのお遍路さんから励ましの声を頂き事業継続を決心しました。事業を継続して、頑張っている姿勢を見ていただきたいと思います。
- 遍路客に宿泊場所を提供することは、お遍路文化を維持するために無くてはならないことです。「お接待」の気持ちを大事にして、旅館を続けていきたいと思っています。



瀧本代表



# 株式会社伊予善 寿司良

～「集いの場所」を提供。街の魅力づくりに貢献～



被災時の状況



被災時の厨房



座敷の修繕



店舗の清掃



入替を行った厨房機器



再開後の店舗

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県宇和島市吉田町東小路甲21
- 連絡先：0895-52-3911
- 事業内容：飲食サービス業
- 代表者名：代表取締役 水谷哲也
- 企業のPRポイント：  
食材の魚を地元漁師から直接仕入れているので、新鮮な料理を提供できることが強みです。地元吉田町をはじめ、県内外のお客様にお越し頂いています。

## 🕒 被災前後の状況

- 1m以上の浸水により、店舗内は泥まみれとなり、畳や内装のほか冷蔵庫や調理器具等の厨房設備が被害を受けました。
- 1日で水は引きましたが断水で水が使えず、片付けが大変でした。近所の井戸をお借りし、バケツに水をためて器を洗う等、掃除・片付けを進めました。器は水道復旧後、改めてよく洗いました。
- しばらくの間はエアコンが使えませんでした。暑い中、これも本当に大変でした。
- 8月中旬より機器入替・修繕をすすめました。8月下旬には水道も復旧し、9月10日に営業を再開することができました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金では、自動食器洗浄機・冷蔵庫等の厨房機器やエアコンの入替を行いました。
- 補助金申請にあたり、先に申請された方や、申請を考えている方から情報収集し、申請準備を進めました。
- グループ補助金の対象とならないものは、商工会の支援を受け他の補助金を活用しました。
- これらの支援制度をうまく使うことにより、早期復旧ができたと思っています。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 人の立ち寄る場所がなくなると、街の面白さもなくなってしまうと思います。被災後、以前にも増して人口が減少していますが、「集いの場所」を提供することで、街の魅力向上に貢献したいと思っています。
- 今回の水害を経験したことで、今後発生する自然災害を想定し、それに備えておくことが大切であると強く感じました。
- 今回の水害では約2ヶ月仕事が出来ず、従業員の雇用を維持するためには、働く場所の確保が重要であるとの思いを強くし、市内に新たな店舗の出店を計画しているところです。



水谷代表取締役



# CELCO JAPAN株式会社

～ “ものづくり”を通して社会に貢献し、社業の発展と社員の幸福の実現を目指します～



倒壊したブロック塀



浸水した事務所



水没し使用不能になった設備



修繕・入替えされた設備



## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲1220番地の1
- 連絡先：0893-25-0033
- HP：http://www.celco.jp/
- 事業内容：電子機械器具製造業
- 代表者名：代表取締役社長 日浅 正一
- 企業のPRポイント：主にソーラーパワーコンディショナーのプリント基板、完成品の受託生産を行っています。技術サポート部門を有していますので、単なる受託生産に止まらず、技術的な提案も行っています。

## 🕒 災害前後の経緯

- 隣接する商業施設との境界にあったブロック塀が水圧で倒壊し、最初に水が入ってきました。工場内は1.7m程浸水し、機械装置がすべて使えなくなりました。倉庫も浸水し、お客様から預かっている材料も水没しました。
- お客様との関係から工場を長く停止することが出来ないため、全従業員が協力し被災から約1ヶ月で一部稼働までこぎ着けました。
- 特に乾いた泥の掃除に手間と時間がかかり、製造ラインで使用するコンテナは、高圧洗浄した後に竹串に布をつけて細かなところまで掃除しました。
- 費用面の問題もあり入れ替えた機械装置のほとんどが中古のものでしたが、グループ補助金がなければ、早期の事業再開は難しかったと思っています。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、浸水で使用不能となった機械装置の入替えを行いました。また、愛媛県と大洲市から補助金を受け、新しく2.1mの止水壁をつくりました。
- 従業員を送迎していたマイクロバスが被災したため、30名ほどの従業員に2週間程度自宅待機をお願いした際、雇用調整助成金を活用しました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 今まで、火災を想定した防災訓練を実施していましたが、水害を想定していなかったため、今回の被災を教訓に、水害も想定したBCPマニュアルを作成しました。
- 今後は、ダムの操作規則の改訂など、状況の変化に合わせて適時BCPマニュアルを更新したいと思っています。
- 行政から補助金等の支援を頂きましたが、これはひとえに地域での「雇用を守る」ことが目的と思っています。
- 雇用を守ることは弊社の理念でもあるとともに、地域に存続する意義であると改めて認識しており、この地で復興を成し遂げるため、これからも頑張ります。



森田取締役製造部長 9



# 伊予蒲鉾株式会社

～宇和海の恵みが生きている、伝統の味と技～



浸水した店舗部分



車は3台が廃車になった



修繕・入替えされた設備



復旧後、製造したちくわ

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市宇和町瀬戸390-1
- 連絡先：0894-66-0334
- 事業内容：食品製造業
- HP：http://www.iyokamaboko.co.jp/
- 代表者名：代表取締役社長 三好一臣
- 企業のPRポイント：昭和48年創業。「じゃこ天」などの水産練り製品を素材の鮮度、味にこだわり、一品一品丹精込めて作っています。

## 🕒 災害前後の経緯

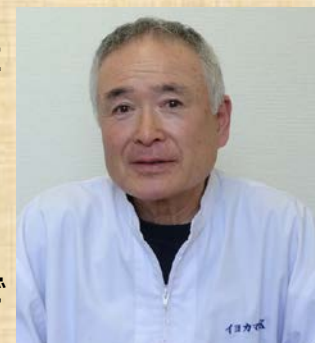
- 7日午前3時頃に工場の様子を見に行くと、すでに敷地内は60cmほど浸水しており、その後、どんどん水かさが増し、80cmぐらまできました。
- 工場は30cmかさ上げしているものの、電気系統・モーター類が下部に設置してあるほとんどの加工機械は水に浸かり、また、大切なフライヤーもガスの配管に水が入り、使用不能になりました。
- このほか、段ボール、包装資材なども濡れてしまい、使えなくなったので廃棄せざるを得ませんでした。
- お盆はお正月の次に忙しい時期ですが、フライヤーが故障で使えなくなったため、12月に新しいフライヤーに入れ替えるまでの数か月間は、汗だくとなりながら手揚げで対応しました。
- グループ補助金がなければ廃業を考えたかもしれません。

## 🔦 活用した支援策他

- 西予市の制度を活用して、無利子の融資を受けています。
- グループ補助金で製造設備の復旧を行ったほか、対象とならなかったものは、西予市の補助金を活用しています。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 八幡浜市からこの場所に移転してきて30年ほど経ちますが、小さな水害は何度かありました。それを教訓として、事務所を2階にしたり、工場や倉庫をかさ上げするなど、いろいろ対策は取ってきました。知識や情報を集めて、人間ができることをすれば、水害にあっても被害を少しは回避できると思っています。
- 災害対策として、「荷物は必ずパレットの上に置く」など、工場の中でいろいろなルールを決めても、長期に渡って徹底することは並大抵のことではありません。なぜそう決めたのか日々の仕事の中で意識し、ルールを守ることが大事です。
- 販路の拡大や跡継ぎのことなど課題は多いですが、これからも頑張っていかなければと思っています。



三好代表取締役社長



# 松浦建設株式会社

～ “大洲の青石” 公共工事から庭の敷砂利まで～



本社



水が引いた後の事務所(ドアの上まで浸水)



内装・設備を改修した運輸部事務所



工事車両入れ替え

## ↑ 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市菅田町菅田甲2274番地 1
- 連絡先：0893-25-5335
- 事業内容：建設業・砕石製造販売
- 代表者名：代表取締役 松浦弘義
- 企業のPRポイント：昭和3年創業。弊社が採取した輝緑岩(きりよくがん)は、庭石や大洲城の石垣をはじめ、千葉県・高知県などでは、太平洋の荒波に耐えうるテトラポットの骨材などにも使われています。

## 🕒 被災前後の状況

- 被災前日の7月6日に国と県から災害対応要請があり、半数の社員が現場へ出ていたところ、翌7日の早朝には、自社建物や建設車両が浸水していました。これまでの水害ではほとんど被害はなく、今回が初めての床上浸水でした。
- 被災後の約1ヶ月間、日中は受注工事の施工を継続し、夕方から現場から帰ってきた全社員で少しずつ片付けを行いました。
- 本社1階が2m浸水したため、被害を免れた採石場に仮設の事務所を作り対応しました。その後、本社事務所を2階に移設し、業務を再開しました。
- 水没した1階部分はまだ修繕が終わっておらず、令和元年11月現在の復旧状況は、会社全体で80%ほどです。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金は、運輸部の事務所修繕の他、特殊車両や建設作業機器、パソコン等の設備の入替に活用しました。
- 特殊車両については、近年の災害多発による需要の高まりもあり、新車・中古車問わず調達困難で、補助要件を満たす車両を調達するのに苦労しました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- BCPを策定し、訓練もしていましたが、想定外のことになるとまったく対応ができず、災害対策の難しさを痛感しました。
- 被災後、多くの方からお見舞いをいただきました。本来であれば災害後は率先して建設会社が現場で作業しなければいけないところ、何もできず歯がゆい思いをしました。
- 令和元年に豪雨災害に遭われた九州北部や長野県に、弊社から復旧応援に行きました。
- 今後も、少しでも恩返しするため、県内外を問わず現場へ出向いて活動していきたいと考えています。



松浦代表取締役



# 愛工房株式会社

～100%地元の柑橘で、産地の底支えを～



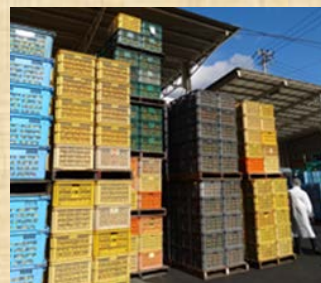
裏山から流れてきた泥水



入れ替えた加工場内の機器類



1日100トンのみかんを加工



## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県宇和島市吉田町立間2-146
- 連絡先：0895-52-1121
- 事業内容：農林水産物の生産・加工・販売、他
- 代表者名：代表取締役 丁井 俊
- 企業のPRポイント：平成21年に日本で初めて、農協の加工部門を継承した会社を設立しました。100%愛媛の材料にこだわり、幅広く柑橘の加工製品を作っています。

## 🕒 被災前後の状況

- 裏山が崩れ、全施設が泥水で水没しました。水が引いても、工場は浅いところでも80cmほど泥に埋まったままでした。
- 社員が休日返上で作業し、泥かき、清掃、消毒に力を入れました。
- 幸いなことに井戸水が使用できたので、直ちに機械の洗浄を行いました。また、近くに民家もあり、消毒は徹底的に行いました。
- 大半の加工設備は入替・修繕が必要でしたが、柑橘の収穫に間に合わせるため、まず、缶詰加工のラインだけは分解・洗浄して7月末には復旧させ、その後、徐々に復旧を進めて、令和元年10月1日に竣工式を終えることができました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を使って、被災した工場建物と製造設備のほとんどを入替・修繕しました。配電設備工事等では、給水設備や冷蔵・冷凍庫なども止める必要がありますが、夏場のみかん加工の閑散期に入るため比較的小さな影響で済みました。
- その他、宇和島市の再建補助金を活用しました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 当社が最も大切にしていることは、農家からみかんを全量、現金で買い取ることです。全量買い取りを始めてから、後継者も増えていると聞いています。
- 被災直後は全量買取ができませんでしたが、10月には製造設備を復旧させ、全量買取を行うことができ、農家の方には、復興に向けた資金ができたことと喜ばれました。それにより価格暴落を止めることが出来たのは、当社の誇りです。
- 加工品は輸入品との競争になりますが、100%愛媛産へのこだわりで勝機があると思っています。
- みかん産地には、価格の暴落を防ぐためにも、加工品製造という底支えが必要です。農家だけでは対応できないところなので、今後も弊社が担わなければならないと思っています。



丁井代表取締役



# 福栄堂菓子舗

～昔ながらの味を、謙虚に、堅実に～



被災後の店内



改修された店舗



入替えた作業場の機器類



1日に500個の文楽もなかを製造

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市肱川町山鳥坂103番地
- 連絡先：0893-34-2508
- 事業内容：和菓子の製造・販売
- 代表者名：福田 永一郎
- 企業のPRポイント：昭和26年に創業。肱川町唯一の和菓子屋です。昔ながらの味「文楽もなか」が看板商品です。

## 🕒 被災前後の状況

- 店舗の裏にある肱川の支流が氾濫し、1階の天井を超える高さまで浸水しました。店舗には作業場や資材置場もあったので、製菓用の機器や資材などすべてが使用不能になりました。
- 作業場の内装の改修や、製菓用の機械の入替えなどを行い、被災後半年ほどで製造を再開することが出来ました。地元の道の駅やスーパーなど営業を再開したところから徐々に納品先も回復してきました。
- 再開にあたって看板商品である「文楽もなか」から取りかかったところ予想以上の反響で、以前にも増して多くの注文を頂いています。被災前は、羊羹やタルトなども作っていましたが、「文楽もなか」以外の商品に手が回らない状態で、今後、他の商品も徐々に再開していこうと考えています。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金で建物の改修と製菓用機器の入替えを行いました。
- グループ補助金の対象にならない消耗品・資材等は、持続化補助金とクラウドファンディングを活用し、再開に漕ぎ着けました。
- 資金確保の面では、県や商工会の方に色々な施策を紹介していただきました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 製造業の復旧には大きな投資が必要なので、グループ補助金など機械整備の助成策は、事業再開・継続を決意するきっかけになりました。
- クラウドファンディングなどを通して経済的な支援に加え、多くの方々から励ましの言葉を頂き、心強く感じました。
- 一度は廃業も考えましたが、被災を機に、当店の和菓子に対する、自分たちが思っていた以上に強いお客さんの思いに触れたことで、今は自分の一存では辞められないと感じています。
- 今後も感謝の気持ちを忘れず、これまでと変わらず、謙虚に堅実に、この肱川の地で和菓子作りを続けていきたいと思っています。



店主の福田さんご夫妻 13



# 有限会社フローラルクマガイ

～創造的復興に向けてカフェ・観光農園にチャレンジ～



倒壊したビニールハウス



出荷不能になったシンビジウム



修復したハウス内で生産された苺とトマト



「招き熊」



60鉢のシンビジウム

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市野村町野村14-696-1
- 連絡先：0894-72-3939
- 事業内容：花き、トマト、苺の生産・販売
- 代表者名：代表取締役 熊谷 琢磨
- 企業のPRポイント：独自の技術で栽培・整形した贈答用のシンビジウムは好評を頂いています。復旧後は、シンビジウムに加え、トマトや苺の生産にも取り組んでおり、将来的には観光農園を開きたいと思っています。

## 🕒 被災前後の状況

- 肱川の右岸側にあった670坪のビニールハウスと、左岸側にあった230坪の出荷場が水没し、設備が全て使用不能になるとともに、出荷予定の花や、これから育てる苗も瓦礫の下敷きになりました。
- 被災後、数日は途方に暮れていましたが、ボランティアの方々に励ましに背中を押され、片付けに取りかかることができました。
- 暫くすると「またゼロからチャレンジできる」という気持ちが強くなり、シンビジウムとは対象的に出荷までの期間が短いトマト、苺の新規導入を決意し、片付けの合間に視察に行きました。
- シンビジウムからトマトに転換した農家の助言を参考に、同様のシステムを導入しました。システム納入業者から作物の販売先も紹介してもらい、ゼロから生産を再開する上で非常に助かりました。
- トマトは令和元年8月、苺は12月に初収穫ができました。

## 👉 活用した支援策他

- グループ補助金の新分野事業を活用してトマト、苺の栽培設備を入れ替え、農林水産省の経営体育成支援事業でハウスなどの建物を修復しました。
- 持続化補助金ではトマト、苺の加工・販売施設と商品パッケージのデザイン、新たに取り組むカフェづくりに充てました。
- 地元の仲間の勤めもあり、クラウドファンディングも行いました。
- 今後復旧する機器等については、西予市の補助金を充てる予定です。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 被災を機に、新たにトマト、苺の生産を始めたので、将来的には収穫体験が出来てカフェも楽しめる「観光農園」への展開を目指しています。
- 野村地区は甚大な被災を受け経済も疲弊し、少子高齢化で人も減り、寂しくなっています。当社の新たな事業展開が少しでも街の賑わいに寄与するよう、農園のキャラクターを「招き熊」でデザインしました。
- シンビジウムは、苗を仕入れから、当社オリジナルの形に整え、出荷まで3年間かかります。作業も大変ですが、自分の農業の原点です。
- 県内外のお客様からは、「1年待つても欲しい」という有り難い声も頂いており、復活を目指し、まずは60鉢から生産を再開し、被災前の6,000鉢を目指し、徐々に増やしていく計画です。



熊谷代表取締役



# 株式会社オズメッセ

～真の地域密着 全ては地域のお客様のために～



被災時の状況



被災直後の店内



リニューアル後のオズメッセ21



復旧後のPOSレジシステム



安心感、鮮度感の「見える化」

## 🏠 企業の基礎情報／PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲1596
- 連絡先：0893-25-3800
- 事業内容：小売業
- 代表者名：代表取締役 菊地 秀明
- 企業のPRポイント：平成10年3月開店。安全安心をモットーに、毎日の暮らしの拠点としての機能を発揮。食品・衣料品・営農資材等、地域の皆様の生活を応援する店舗としての役割を果たしてきました。

## 🕒 被災前後の状況

- 床上120cmまで浸水したため、食品・衣料品・営農資材等は全て廃棄しました。また、冷蔵ショーケース、 Gondola、厨房機器は汚泥の付着・損傷が大きく使用不可となり、さらに床等には泥が堆積した状態でした。
- 店内商品や設備の清掃・片付けに1ヶ月を要しました。
- ホームセンターでは、商品等は廃棄となりましたが、被災2ヶ月後には営業再開できました。生活便利館（食品・医衣料・専門店）は、設備等の被害が大きく、営業再開まで8ヶ月余りを要しましたが、平成31年3月にリニューアルオープンしました。
- 売上については、被災前の実績まで回復するのに休業期間と同じくらいの時間がかかりましたが、現在は被災前まで回復しました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金では、設備等の修繕入替の他、新分野事業を活用して店舗内のレイアウトを変更しました。産直市場を設け、作業場を開放型に改善する等、安心感、鮮度感を「見える化」することで、顧客のニーズに応じる環境を整備しました。
- 設備等の保険には加入していなかったため、グループ補助金が活用出来たのは資金面で助かりました。
- 休業期間も従業員の雇用を維持するため、雇用調整助成金を活用しました。

## 🗣️ 事業者からのメッセージ

- 生活便利館の休業時は、テナントとして入居されている専門店の休業も余儀なくされ、資金面で苦勞されたと推察されましたが、ほとんどの専門店が被災前と同様に出店頂けたことには感謝が尽きません。
- 被災から2年が経過し、やっと被災前に近いお客様が来て頂けるようになりました。来店されたお客様が、必ずリピーターになって頂けるように「真の地域密着 全ては地域のお客様のために」をコンセプトとして、高齢者や高齢者と暮らす家族、子育て世代が訪れる、安心安全な店づくりを目指します。



久保代表取締役専務 15



# 忽那醸造株式会社

～時間と手間をかけ、地域の味を届けるために～



豪雨により被害を受けた屋根



復旧途中の土蔵



復旧後の土蔵



杉樽で長期間熟成した醤油



ギフトセット（柚子ポン酢・ソース等）

## 🏠 企業の基礎情報／PRポイント

- 住所：愛媛県松山市北条822番地
- 連絡先：089-993-0927
- 事業内容：製造業
- 代表者名：代表取締役 忽那 哲郎
- 企業のPRポイント：大正10年の創業より醤油・味噌の製造を続けています。地域の味として原料を厳選し、嗜好や暮らしぶりの変化に合わせて本当に喜ばれる味作りに励んでいきたいと思ひます。

## 🕒 被災前後の状況

- 7月7日の豪雨により、作業場として使用している土蔵の屋根が損傷し、建屋内が浸水しました。また、土蔵の壁も一部崩落し、車両が破損する被害を受けました。
- 土蔵の復旧は日本家屋の修繕となり、技術力のある大工に依頼する必要がありましたが、幸いなことに地元の大工や瓦職人に協力いただき、歴史ある土蔵の復旧が可能となりました。
- 売上については、地元中心の取引に支えられ被災前と代わらない状況を維持していましたが、コロナ禍の影響によりユーザー層に変化が生じてきており、弊社もニーズに応じた対応が必要と感じています。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金は、損傷した土蔵の屋根や土壁の修繕と、車両入替に活用しました。
- 販路開拓に向けた事業計画を検討したところから被災したこと、持続化補助金も活用し、新たな営業用車両を導入することが出来ました。
- 補助金活用にあたり、地元商工会に相談し、経営指導員に助言頂いたことでスムーズな事業復旧が図られ、新たな販路開拓に取り組むことが出来ました。

## 🗣️ 事業者からのメッセージ

- 私たちは「地域に何を供給していけるか」を重視している中、美味しいと言われる調味料を供給し続けるためにも、被災から復旧出来たことは大変有り難いことだと感じています。
- 弊社の立地する北条地域は県内でも降雨量が少ない地域のため、自身が被災するまでは被災は実感できない出来事でした。今回の復旧では様々な方面の方から助けて頂き感謝しています。
- また、自分たちの会社が今後どのようにやっていくかを見つめ直す機会ともなりました。



忽那専務取締役



# 養老酒造株式会社

～「和醸良酒」をもたらす酒造りを目指して～



被災時の酒蔵



浸水により破損した貯蔵タンク



復旧後の製造設備



復旧後の酒蔵

## ↑ 企業の基礎情報 / P R ポイント

- 住所：愛媛県大洲市肱川町山鳥坂49番地
- 連絡先：0893-34-2352
- 事業内容：酒類製造業
- 代表者名：代表取締役 山内 光郎
- 企業のP Rポイント：1921年創業。大洲市唯一の老舗酒蔵です。作り手が和を醸し、飲む人の和を醸す「和醸良酒」を信条に、人の手による手造りのお酒にこだわっています。

## 🕒 被災前後の状況

- 肱川の氾濫により、酒蔵が3m以上浸水しました。貯蔵タンクが持ち上げられ天井を破壊し、圧搾ろ過機など酒造りに必要な設備のほとんどが破損しました。酒蔵も3棟のうち2棟が全壊となり、取り壊すことになりました。
- 在庫品もほとんどが浸水し廃棄となりましたが、冷蔵庫で保管されていた一部の製品は、近隣の酒造業者が保管を引受けて頂けたことで、かろうじて守ることが出来ました。
- 泥まみれで片付けに先が見えない状況の中で、目標が無いと前に進めないと考え、仕込みまでに片付けを進め、酒造りを再開することを決心しました。
- 酒造組合の仲間やボランティアの支援もあり、被災の半年後から仕込みを行い、従来の1/10程の生産量でしたが、新酒を出荷することが出来ました。

## 🏠 活用した支援策他

- グループ補助金では、新分野事業を活用し、全壊した2棟の酒蔵を撤去し、事務所兼作業場として建替を行いました。また、付加価値の高い製品の製造を目指し製造・保管設備の入替・修繕を行いました。
- グループ補助金の対象とならない設備の復旧には、持続化補助金を活用したほか、県から紹介のあったクラウドファンディングに取り組み、全国の方から支援を頂きました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 被災した酒蔵の惨状を目の当たりにしたときは廃業も頭をよぎりましたが、仲間やボランティアの方々が汗を流して片付けに取り組む姿に、頑張って美味しいお酒を造ることが御礼になると思い、酒造りの再開を決意しました。
- 酒蔵の建替も完了し、これからという時にコロナ禍で先行きの見通せない状況となりましたが、自社HPやECサイトの整備を進める等、新たな取り組みにチャレンジしています。
- 家族中心の小さな酒蔵ですが、地元産の原料や手造りにこだわり、この地だから作れる酒を目指して頑張っていきます。



山内代表取締役



# 旭合名会社醤油醸造場

～新しい発想で他に無い調味料づくりを目指して～



国登録有形文化財の醸造場



被災直後の作業場状況



販売を再開した店舗の様子



「パクチー醤油」

## ↑ 企業の基礎情報 / P Rポイント

- 住所：愛媛県宇和島市吉田町東小路甲112-2
- 連絡先：0895-52-0242
- 事業内容：醤油・調味料製造業
- 代表者名：代表社員 清家 善右衛門
- 企業のP Rポイント：1882年創業。醤油調味料の製造販売をしています。夫婦で店を引き継いでからは「ふりかけポンズ」「パクチー醤油」など、新しい発想で他にない商品を開発しています。

## 🕒 被災前後の状況

- 7/7の6時頃には、あっという間に水位が上がり大人の胸ほどの高さになり、製造用の樽も浮き上がり破損しました。事務所・店舗や、作業場がすべて浸水し、新設したばかりの製造機械も水没。商品もほとんどが浸水して泥だらけになり、廃棄処分となりました。
- 2ヶ月ほど断水しているなかでの片付けとなり大変でしたが、学校給食への納品をはじめ、できる範囲で製造を再開しました。2019年5月に店舗販売を再開しましたが、建屋修繕や機械入替が完了し、完全復旧するまでに1年半かかりました。
- 被害を知った県外の友人が「時間がかかっても良いので、復旧後に商品を送って欲しい」と、SNS等で支援を呼びかけてくれました。全国から沢山の方にご支援いただき、商品をお届けした後も、リピーターとして、現在もホームページから注文をいただいています。

## 📦 活用した支援策他

- グループ補助金では、醤油製造の作業場や事務所・店舗の修繕と、充填機やガス回転釜等、製造用機械の入替を行ないました。
- 持続化補助金を活用して、販路拡大を目指した営業用車両やジューサー等製造機器の入替を行いました。また、ものづくり補助金を活用して、従来よりも取り扱えるロット数の多い殺菌用機械を購入し、生産性向上を図りました。
- クラウドファンディングに取り組み、全国の皆様から温かい応援と励ましのお言葉を頂き、資金を調達することが出来ました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 旭醤油は、家庭用の他にも学校給食や病院、近所の飲食店などに商品を届け、代々地域密着で営業を続けていました。醸造場の建屋は文化庁の国登録有形文化財にも指定され、昔ながらの姿を今に伝えています。
- 新しい発想で開発した「ふりかけポンズ」や、愛媛産パクチーを使用した「パクチー醤油」は、ウェブストア等で県外や海外からも大変好評いただいています。
- 今後も地域に根付いて商品を販売していくとともに、他にはない新商品を開発して、県外・海外でも沢山のファンを作れるように頑張っていきます。



4代目 中川賢治さん 18



# 南豫被服株式会社

～確かな品質と技術力で信頼に応えて～



被災時の状況



被災した工場内



復旧後の外観



復旧後の工場と導入した設備



## 🏠 企業の基礎情報／PRポイント

- 住所：（本社）愛媛県八幡浜市1354  
（工場）愛媛県大洲市田口甲788
- 連絡先：0893-24-2188
- 事業内容：繊維工業
- 代表者名：代表取締役 山本 義勝
- 企業のPRポイント：昭和23年設立。過去には長野五輪で使用された日本選手団のユニホームも受注。現在は大洲市の工場で、全国の学校で使用されるブラウスの委託縫製を中心に行っています。

## 🕒 被災前後の状況

- 工場は過去の水害を踏まえてかさ上げしていましたが、今般の水害では床上1.2mまで浸水し、1階施設・設備に大きな被害を受けました。
- 1階で裁断、2階で縫製したあと、1階でアイロン仕上げをしていましたが、水害で1階部分が使用不能になりました。また、工場隣の技能実習生が居住している寮でも、二段ベットが浸水する被害を受けました。
- 以前は百貨店などのブランド等向けに裁断から仕上げまで一貫して手掛けていましたが、10年ほど前から学生服の縫製加工中心に転換していたところ、今回の水害が起きたため、1階の裁断機などは復旧させずに縫製に必要な部分だけを復旧して事業を再開しました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金では、水没したプレス機の入替や、トイレ・床の一部の修繕などに活用しました。また、新分野事業として復旧に代えて新たなミシンを導入し、需要に対応出来る環境を整えました。
- 復興事業計画に取り組むグループ内の取引先と再開可能な業態への転換などについて相談しながら支援を受けられたことが事業継続への後押しとなりました。
- 被災後は1か月以上稼働できなかったため従業員に休んでもらい、その間の給与支払いに雇用調整助成金を活用しました。

## 🗣️ 事業者からのメッセージ

- 被災直後は廃業も考えましたが、グループ補助金等の支援策を紹介していただき、取引先など多くの皆様にご支援いただいて事業を再開することができました。大変感謝しています。
- 長年勤めてくれていた方を中心に一部従業員に退職してもらうことになったことが一番残念でした。今後は雇用の維持に努めていきたいと考えています。
- 縫製業は多くの人の手を経て完成するものです。今回ご支援いただいた方々への感謝を忘れず、従業員の気持ちを大切にしていきたいと思えます。



山本代表取締役



# 株式会社サンフーズ

～みんな笑顔になる「おいしい」をお届けいたします～



被災時の工場状況



倒壊した防水壁



復旧作業の様子



復旧後の機械設備



本社工場

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市菅田町菅田甲2522番地
- 連絡先：(0893)25-4450
- 事業内容：食品製造業
- 代表者名：代表取締役 堀田 修治
- 企業のPRポイント：レトルト食品を中心に、栗及び惣菜製品を製造しています。レトルトカレーやパスタソース等、OEM商品が中心で、機械と人が協調しつつ他社には出来ない商品作りを行っています。

## 🕒 被災前後の状況

- 工場敷地内は床上4.3mの冠水で、水圧で鉄骨が変形する等、建物や製造装置に大きな被害を受けました。平成16年の水害を受けて高さ2.8mの防水壁を工場敷地の周囲に張り巡らせていましたが、防水壁も一部倒壊という未だかつて無い状態でした。
- OEMに特化した製品が多く、代替品も無いため、復旧まで休売等に対応することとなり、顧客に多大な御迷惑をかけました。
- 被災翌日から電源等ライフラインの確保、修理や従業員総出での清掃や、廃棄となった製品や原料、資材の後片付けといった復旧活動を1ヶ月以上行い、翌々月末にはほぼ全エリアで操業可能となりました。
- 清掃用の雑用水を確保するため、普段利用している井戸水の配電盤を修理し3日以内に復旧しました。井戸水は近隣団地の皆様にも利用していただけるよう解放して提供しました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、事務所・工場の修繕や、機械装置の修繕・入替を行いました。
- 水害保険に加入していたものの、支払金は総被害額には及ばず、精神的な重荷となっていましたが、グループ補助金を活用することでその後の機械導入や家屋、設備復旧をスムーズに行うことが出来ました。
- スムーズな復旧と再開に向けた従業員の熱意、努力が得意先に非常に評価され、販売強化に繋がりました。

## 🗣️ 事業者からのメッセージ

- 近年災害が増加している中で、様々な支援施策を行っていただいておりますが、グループ補助金は弊社にとって非常にタイムリーで実を結んだ施策でした。
- 防災インフラが十分とはいえない地方は自然災害のリスクが高く、災害時に的確に事業継続を支える支援施策は非常に意味を成すものだと思います。
- 甚大被害からの復旧は企業単独では困難な面もありますが、今回の経験も風化させずに、地域の雇用を支える企業の役割を果たして参ります。



堀田代表取締役 20



# 河内屋蒲鉾株式会社

～江戸時代から続く伝統の味を守り続けて～



本社工場



被災時の高串地区の状況



復旧後の製造設備



宇和島蒲鉾・手造りじゃこ天

## 🏠 企業の基礎情報 / P R ポイント

- 住所：愛媛県宇和島市高串1番耕地544番地1
- 連絡先：0895-22-7700
- 事業内容：水産練製品製造業
- 代表者名：代表取締役 河内屋 仁
- 企業のP Rポイント：伝統の味を守り続けて170有余年。愛媛県認定の伝統工芸士のいる会社です。うまいかまぼこ造り一筋に、昔ながらの造り方で、より安心・安全な製法を追求しています。

## 🕒 被災前後の状況

- 早朝から仕込み作業中、15分程度で膝丈まで浸水しました。工場内の浸水被害は74センチ程でしたが、調理用に油を温めている最中に浸水したため、フライヤーが折れ曲がったり、水圧で転倒するなど、合計3台損傷しました。
- 石臼に砂利が入ってしまったため、1台ずつ製造元へ運び、解体、分解、洗浄を行いました。
- 過去の水害経験から片付け作業には慣れており、また水源を確保していたため洗浄ができたことが大きかったです。それでも再開には1ヶ月ほどかかりました。
- 設備の入替には、これまで特注で製造してもらっていた鉄工所が閉業していたこともあり、調整に時間がかかり令和2年5月にやっと完了しました。

## 🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、フライヤー、竹輪製造機、三色板付成形機の入替や、排水処理施設の修繕を行いました。
- 補助金活用の経験はあまりありませんでしたが、愛媛県をはじめサポート頂けた方々からの補助金申請に向けたご助言やご支援により、グループ補助金を申請することが出来ました。
- 機械メーカーにも、補助事業に合わせて納期を急いでもらうなど協力いただきました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 水害は過去にも体験しましたが、今回はまさかここまでの被害になるとは想定外でした。自然の力は脅威だと改めて認識しました。
- 補助金などの支援制度を活用し、事業継続することが、必ず自社のため、社会のためになります。未来の子供たちに会社を残すことが重要です。
- 被災状況を写真などで示すことで、補助金や保険金の申請がスムーズに進みます。写真で記録しておくことがとても重要だと感じました。
- 原材料となる漁獲量の減少やコロナウイルスの影響などで厳しい状況ではありますが、新製品の開発など、新しいことにチャレンジして頑張っていきます。



河内屋代表取締役



# 百姓百品株式会社

～働き者の高齢者の知恵と経験・技を集結～



店舗・農産物直売所



被災時の状況



復旧作業の状況



新設したイトインスペース



入替後のショーケース

## 🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県西予市野村町野村12号15番地
- 連絡先：070-5682-4756
- 事業内容：小売業（農産物の生産、加工、販売等）
- 代表者名：代表取締役 河野 真次郎
- 企業のPRポイント：野村町を中心に、平均年齢70歳、500名を超える働き者の高齢者の知恵と経験・技を集結し、美味しく安全な野菜を都市部へ発信することで、地域農業の振興と活性化に取り組んでいます。

## 🕒 被災前後の状況

- 早朝の惣菜調理や、野菜の運送中に浸水が始まりました。店内は40センチ程浸水した他、運送中の車両も置いて避難しました。
- 店舗の片付け作業は1ヶ月程かかりましたが、松山市内へ配送する野菜の出荷は止めることが出来ないため、被災後早急に再開しました。
- 片付けが済んだ後も、冷蔵庫やトラック、エアコン、ショーケース等は調達が間に合わず、最低限の設備での営業再開となりました。通常営業となるまでには、約1年ほどかかりました。
- 町の中心地に立地しているため、地域の方もたくさん気にかけて頂き、復興のシンボルとして早期に復旧できるよう頑張らねばならないという気持ちでした。

## 🏠 活用した支援策他

- グループ補助金を活用し、被災したエアコンやショーケースの入替を行ったほか、効率化を図るため新分野事業としてトラックの入替を行いました。
- 持続化補助金を活用し、厨房やイトインスペースを設け、地域交流の場として活用頂けるように整備しました。
- 事業資金については金融機関にも迅速に対応いただき、スムーズに借入れを行うことができました。

## 👤 事業者からのメッセージ

- 自然災害についてはテレビの中の世界だと思っていて、自分たちが被災するなんて考えてもいませんでした。
- 復旧の際には周囲から多くの助けをいただいたので、これから恩返ししていきたいと思えます。
- 地域の高齢者の活力にも繋がることから、出荷して頂ける農家の方がいる限りは、長く続けていきたいです。
- 復旧を機に店舗内の売り場を半分へ縮小し、新たにイトインスペースを設けました。今後イベント等を企画し、地域のコミュニティスペースとして活用頂くことを期待しています。



西岡事務局長